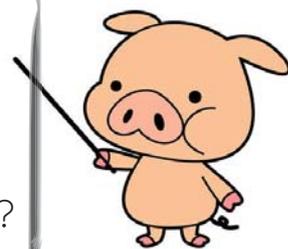




## ブタの飼育・実験でお悩みのみなさん

- ・大きくて扱いが難しそう
- ・術後管理で気をつけることは？
- ・人獣共通感染症の心配はない？
- ・麻酔導入や挿管ってどうするの？
- ・飼料はどれくらい与えたらいいの？



初めてブタを扱う全国の技術者のみなさんのこんな声にお応えして、関西支部では 2016 年 1 月、「実験用ブタの取り扱い手技（入門）講習会」を初めて開催しました。第 2 回も 2017 年 1 月 28・29 日に岡山大学で開催。あなたも受講してみませんか!?

### 平成 28 年度 実験用ブタの取り扱い手技（入門）講習会の開催予告

関西支部では会員の皆様のスキルアップ支援を目的に、実験動物学習会・実技（2 級技術者試験受験レベル）、マウス・ラットならびにウサギ・モルモット上級実技講習会（それぞれ 1 級技術者試験受験レベル）等の各講習会を開催してきましたが、それに加え、近年使用が増加しているブタの講習会開催のご要望をいただいております。そこで昨年度初めて開催した「実験用ブタの取り扱い手技（入門）」講習会を、今年度も岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門との共催で開催することになりましたのでご案内いたします。

少人数の講習会となりますが、実験用ブタの取り扱い経験豊かな獣医師、技術者を講師として、非常に濃い講習内容を提供できるものと考えております。ぜひ参加をご検討ください。

記

開催日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）9：00 ～ 29 日（日）16：30

開催場所：岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門（岡山大学医学部構内）  
〒700-0914 岡山市北区鹿田町 2 丁目 5-1

募集人員：10 名（先着順。2 班編成のため、10 名を上限としています）

講習項目：① 導入教育 ② 術前準備 ③ 麻酔導入 ④ 気管挿管 ⑤ モニター接続、ライン確保  
⑦ 手術体験実習 ⑧ 術後管理（投薬など）⑨ 安楽死 ⑩ 座学

受講料：会員 25,000 円、非会員 40,000 円、学生 25,000 円

（※ 2 日間の昼食代、懇親会費を含む。）

◆ 詳細は関西支部ホームページ、関西支部メールマガジンをご覧ください。



## 2017 年、支部設立 50 周年へ

### 日本実験動物技術者協会関西支部

<事務局> 岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門  
〒700-0914 岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445

website : <http://www.jaeat-kansai.org> e-mail : [kansaimail@jaeat-kansai.org](mailto:kansaimail@jaeat-kansai.org)

## 昨年度の受講者の感想から



気管挿管の練習

1匹に対して付く人数は大きく異なり、非常に戸惑いました。また一人では絶対に対応できないため、なによりもチームワークが必要だということ。チームワーク、そしてチーム医療の重要性と難しさを教わりました。これらの経験は失敗も含め、今後の研究に活かしたいと思います。(企業所属・Aさん)

手術体験の脾臓摘出時には皆で他臓器を手で押さえながら講師の指示の元、深部結紮を何度も繰り返したのを覚えています。実際に動物を使う手術はできないため、非常に貴重な体験をさせていただきました。採血はとても難しかったです。何度も浅く刺入してしまいました。もっと血管走行を立体的に理解し、可能であれば機会を作り、練習したいと考えています。

ブタはマウスやラットと違い、使用する器具や投与単位、動物への力加減、そして

講義は内容も幅広く非常に興味深く聴講することができました。特にブタの感染症の話では、ブタの飼育管理をする上で、知っておかなければならない人獣共通感染症について理解を深めることができ、大変有益だったと感じています。今後、研究者や施設の職員同士で情報共有を図りたいと思います。

また、本講習会中に講師の先生が「ブタの実験はチームで行うものだから全員が自分の役割を意識して、連携をとらなければならない」とおっしゃっていたのが印象に残っています。

本講習会で得た事を最大限に活かし、実験動物施設の職員として、今後、ブタを用いた実験が、科学的にも倫理的にも適正に行われるよう努めたいと考えています。(大学所属・Bさん)



脾臓摘出手術を体験



**関西支部 HP、メルマガに注目!**